

弊社製品をお買い求め頂き誠に有難うございます。本製品はフロント及びビュアミラーのウインカーランプをポジション化することが出来ます。またディップスイッチの切り替えにより簡単にノーマル状態に戻すことが可能です。本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取付け作業をおこなって下さい。

△危険

- 本製品及び付属品は確実に固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取付けないで下さい。運転に支障をきたし事故の原因となります。
- 本製品の装着により車両に異常が出たままの状態で行を続けると、予期せぬトラブルを誘発するばかりでなく、事故を招く可能性があります。性能が損なわれている場合は専門業者にて点検、整備を行って下さい。
- 本製品の加工・分解・改造などは一切行わないで下さい。事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。加工・分解・改造等の形跡が見られた場合、クレーム・修理の対象外とさせていただきます。
- エンジン本体、ラジエーター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。必ず各部品の温度が下がってから作業を始めて下さい。

△警告

- 本製品は車両電源がDC12V車用です。12V/24V兼用車又は、24V車には使用しないで下さい。火災の原因になります。
- 本製品の取り付け時は使用しない配線等は絶縁テープを巻く等して必ず絶縁対策を行って下さい。ショート等により火災、電装品、エンジン、車両の破損の原因になります。
- カブラを外す場合には無理にハーネスを引っ張らず、必ずカブラを持って取外して下さい。ハーネスが破損すると、ショート等により火災、電装品の破損、焼損に原因になります。又、製品の故障の原因になります。

△注意

- 取付作業のために一時的に取外す純正部品は破損、紛失しないように大切に保管して下さい。弊社では、取付作業による物的損害の責任を負うことが出来ませんので慎重に作業を行って下さい。
- 配線・取付け/取外しには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店、又はプロショップにご依頼下さい。
- 本製品は精密部品ですのでハーネスの取回しで強力な信号、ノイズの発生しやすい箇所は避けて下さい。誤作動する恐れがあります。
- 本製品に付属するハーネスは耐熱部品ではありませんので高温部を通す場合は必ず熱対策を行って下さい。

車検については【車検について】の項目を参考にして下さい。使用・調整はお客様の自己判断、責任においておこなって下さい。(※配線によりノーマル状態にすれば車検は問題ありません)

取付作業前

- ◎取り付け作業には一部配線加工をしますので圧着ペンチ、絶縁テープ、電圧計テスター等が必要です。
- ◎ハーネス類は運転の妨げにならぬようにまとめて本体を固定して下さい。
- ◎作業はキースイッチ、スモール電源OFFの状態でおこなって下さい。

調整方法

屋間にボリューム調整すると明るすぎる調整になってしまいます。必ず調整は夜間に行ってください。

＜減光状態調整＞

- 減光状態の光度をボリュームにより調整できます。精密ドライバーにて調整を行って下さい。
- ボリュームを右に回すと明るくなり、左に回すと暗くなります。
- 右図の☆印の位置を中心に調整を行って下さい。(約5W/推奨位置)

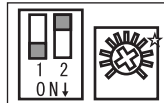
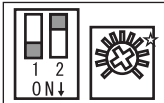
- ※本体がかなり高温になる場合はボリュームを左側に回して使用して下さい。
- ※動作確認のため、メーター内のインジケーターも連動して点灯いたします。

＜ウインカーキャンセル機能の解除＞

- ディップスイッチ1をOFF状態にするとウインカーキャンセル機能が解除されます。
- ⇒ ウインカーを出しても逆側ウインカーは減光状態のままです。

＜ノーマル復帰＞

- ディップスイッチ2をON状態にするとノーマル状態になります。
- ※ノーマル状態とはウインカーポジションを装着しない作動状態です。



車検について

車検については各陸事、検査場により解釈方法の違いがありますが、当社にて調べた国土交通省保安基準では保安基準適合です。

＜2005年1月31日以前に製作された自動車＞

- 保安基準＜自動車＞第34条 適用整理 第32条
平成十七年十二月三十一日以前に製作された自動車については、保安基準第三十四条の規定並びに細目告示第四十五条、第二百二十三条及び第二百一条の規定にかかわらず、次の基準に適合するものであればよい。
- 保安基準＜自動車＞第34条 適用整理第32条＜ニ＞＜ロ＞
車幅灯の灯光の色は、白色、淡黄色又は橙色であり、そのすべてが同一であること。
- 保安基準＜自動車＞第34条 適用整理 第32条＜四＞
方向指示器又は非常点滅表示灯と兼用の前面の両側に備える車幅灯は、方向指示器又は非常点滅表示灯を動作させている場合においては、前号への基準にかかわらず、方向の指示をしている側のもの又は両側のものが消灯する構造でなければならない。

⇒ウインカーポジションとリアウインカーキャンセラーを装着した場合は従来の前側車幅灯が橙色でない場合は、車幅灯の電球をはずしか、コネクタを抜き、車幅灯の色を1色にすることにより保安基準適合となります。方向指示器を出した時の設定はディップスイッチ1をON、OFFどちらでも可です。

＜2006年1月1日以降に製作された自動車＞

- 保安基準＜自動車＞第34条 細目告示 第2節 第123条＜ニ＞
車幅灯の灯光の色は、白色であること。ただし、方向指示器、非常点滅表示灯又は側方灯と構造上一体となっているもの又は兼用のもの及び二輪自動車、側付二輪自動車並びにカタピラ及びそりを有する軽自動車に備えるものにあっては、橙色であってもよい。
- 保安基準＜自動車＞第34条 適用整理 第32条＜四＞
方向指示器又は非常点滅表示灯と兼用の前面の両側に備える車幅灯は、方向指示器又は非常点滅表示灯を動作させている場合においては、前号への基準にかかわらず、方向の指示をしている側のもの又は両側のものが消灯する構造でなければならない。

⇒車幅灯の色が白色に指定されましたが、例外にて橙色もみとめられています。

⇒ウインカーポジションとリアウインカーキャンセラーを装着した場合は車幅灯の電球をはずしか、コネクタを抜き、車幅灯の色を1色にすることにより保安基準適合となります。方向指示器を出した時の設定はディップスイッチ1をON、OFFどちらでも可です。

注意！配線ミスによる故障は保障の対象外となります。

注意！本体への浸水による故障は保障の対象外となります。

純正部品の脱着についてご不明な点は、カーショップ・ディーラーへお問い合わせ下さい。

弊社製品をお買い求め頂き誠に有難うございます。本製品はフロント及びビュアミラーのウインカーランプをポジション化することが出来ます。またディップスイッチの切り替えにより簡単にノーマル状態に戻すことが可能です。本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取付け作業をおこなって下さい。

△危険

- 本製品及び付属品は確実に固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取付けないで下さい。運転に支障をきたし事故の原因となります。
- 本製品の装着により車両に異常が出たままの状態で行を続けると、予期せぬトラブルを誘発するばかりでなく、事故を招く可能性があります。性能が損なわれている場合は専門業者にて点検、整備を行って下さい。
- 本製品の加工・分解・改造などは一切行わないで下さい。事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。加工・分解・改造等の形跡が見られた場合、クレーム・修理の対象外とさせていただきます。
- エンジン本体、ラジエーター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。必ず各部品の温度が下がってから作業を始めて下さい。

△警告

- 本製品は車両電源がDC12V車用です。12V/24V兼用車又は、24V車には使用しないで下さい。火災の原因になります。
- 本製品の取り付け時は使用しない配線等は絶縁テープを巻く等して必ず絶縁対策を行って下さい。ショート等により火災、電装品、エンジン、車両の破損の原因になります。
- カブラを外す場合には無理にハーネスを引っ張らず、必ずカブラを持って取外して下さい。ハーネスが破損すると、ショート等により火災、電装品の破損、焼損に原因になります。又、製品の故障の原因になります。

△注意

- 取付作業のために一時的に取外す純正部品は破損、紛失しないように大切に保管して下さい。弊社では、取付作業による物的損害の責任を負うことが出来ませんので慎重に作業を行って下さい。
- 配線・取付け/取外しには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店、又はプロショップにご依頼下さい。
- 本製品は精密部品ですのでハーネスの取回しで強力な信号、ノイズの発生しやすい箇所は避けて下さい。誤作動する恐れがあります。
- 本製品に付属するハーネスは耐熱部品ではありませんので高温部を通す場合は必ず熱対策を行って下さい。

車検については【車検について】の項目を参考にして下さい。使用・調整はお客様の自己判断、責任においておこなって下さい。(※配線によりノーマル状態にすれば車検は問題ありません)

取付作業前

- ◎取り付け作業には一部配線加工をしますので圧着ペンチ、絶縁テープ、電圧計テスター等が必要です。
- ◎ハーネス類は運転の妨げにならぬようにまとめて本体を固定して下さい。
- ◎作業はキースイッチ、スモール電源OFFの状態でおこなって下さい。

調整方法

屋間にボリューム調整すると明るすぎる調整になってしまいます。必ず調整は夜間に行ってください。

＜減光状態調整＞

- 減光状態の光度をボリュームにより調整できます。精密ドライバーにて調整を行って下さい。
- ボリュームを右に回すと明るくなり、左に回すと暗くなります。
- 右図の☆印の位置を中心に調整を行って下さい。(約5W/推奨位置)

- ※本体がかなり高温になる場合はボリュームを左側に回して使用して下さい。
- ※動作確認のため、メーター内のインジケーターも連動して点灯いたします。

＜ウインカーキャンセル機能の解除＞

- ディップスイッチ1をOFF状態にするとウインカーキャンセル機能が解除されます。
- ⇒ ウインカーを出しても逆側ウインカーは減光状態のままです。

＜ノーマル復帰＞

- ディップスイッチ2をON状態にするとノーマル状態になります。
- ※ノーマル状態とはウインカーポジションを装着しない作動状態です。

車検について

車検については各陸事、検査場により解釈方法の違いがありますが、当社にて調べた国土交通省保安基準では保安基準適合です。

＜2005年1月31日以前に製作された自動車＞

- 保安基準＜自動車＞第34条 適用整理 第32条
平成十七年十二月三十一日以前に製作された自動車については、保安基準第三十四条の規定並びに細目告示第四十五条、第二百二十三条及び第二百一条の規定にかかわらず、次の基準に適合するものであればよい。
- 保安基準＜自動車＞第34条 適用整理第32条＜ニ＞＜ロ＞
車幅灯の灯光の色は、白色、淡黄色又は橙色であり、そのすべてが同一であること。
- 保安基準＜自動車＞第34条 適用整理 第32条＜四＞
方向指示器又は非常点滅表示灯と兼用の前面の両側に備える車幅灯は、方向指示器又は非常点滅表示灯を動作させている場合においては、前号への基準にかかわらず、方向の指示をしている側のもの又は両側のものが消灯する構造でなければならない。

⇒ウインカーポジションとリアウインカーキャンセラーを装着した場合は従来の前側車幅灯が橙色でない場合は、車幅灯の電球をはずしか、コネクタを抜き、車幅灯の色を1色にすることにより保安基準適合となります。方向指示器を出した時の設定はディップスイッチ1をON、OFFどちらでも可です。

＜2006年1月1日以降に製作された自動車＞

- 保安基準＜自動車＞第34条 細目告示 第2節 第123条＜ニ＞
車幅灯の灯光の色は、白色であること。ただし、方向指示器、非常点滅表示灯又は側方灯と構造上一体となっているもの又は兼用のもの及び二輪自動車、側付二輪自動車並びにカタピラ及びそりを有する軽自動車に備えるものにあっては、橙色であってもよい。
- 保安基準＜自動車＞第34条 適用整理 第32条＜四＞
方向指示器又は非常点滅表示灯と兼用の前面の両側に備える車幅灯は、方向指示器又は非常点滅表示灯を動作させている場合においては、前号への基準にかかわらず、方向の指示をしている側のもの又は両側のものが消灯する構造でなければならない。

⇒車幅灯の色が白色に指定されましたが、例外にて橙色もみとめられています。

⇒ウインカーポジションとリアウインカーキャンセラーを装着した場合は車幅灯の電球をはずしか、コネクタを抜き、車幅灯の色を1色にすることにより保安基準適合となります。方向指示器を出した時の設定はディップスイッチ1をON、OFFどちらでも可です。

注意！配線ミスによる故障は保障の対象外となります。

注意！本体への浸水による故障は保障の対象外となります。

純正部品の脱着についてご不明な点は、カーショップ・ディーラーへお問い合わせ下さい。